

トリオス（仮称）卓球競技ルール（案）

2010年4月22日
山室ラバース
山室スポーツ少年団

本競技は、“2人対2人”で行うダブルス競技の組構成を“3人対3人”に拡張しておこなうものである。

基本ルールは、「日本卓球ルール」及び「新(ラージボール)卓球ルール」によることとし、本ルールでは、レシーブ、リターンの順序について規定する。

なお、3人のプレイヤーで構成する一つの組を“トリオ”と呼ぶ。

1 リターンするプレイヤーの順序

最初のゲームを開始する前に、トリオにおいてリターンするプレイヤーの順序を決定しておき、この順序は勝敗が決定するまで変更できない。

2 最初のゲームのレシーバー

最初のサーバーが決まった後に、トリオの内からレシーバーを決定する。

3 2ゲーム目以降のレシーバー

最初のサーバーが決まった後に、直前のゲームにおいてそのサーバーに対してレシーバーであった者を除く2人の内からレシーバーを決定する。

4 最終ゲームでエンドを交替した時のレシーバー

そのゲームの最初のサーバーに対してレシーバーであった者を除く2人の内からレシーバーを決定する。



プレイ順序例

- ① リターンするプレイヤーの順序決定 A→B→C vs X→Y→Z
- ② 第1ゲーム 最初のサーバー: A 最初のレシーバー: X のとき
【最初のサーブ】A→X→B→Y→C→Z→A・・・ 《これはサーバーの順序となる》
【最初のサーブ交替】X→B→Y→C→Z→A→X・・・
- ③ 第2ゲーム 最初のサーバー: (X, Y, Zから任意に選び) Z としたとき
最初のレシーバー: (A以外から選び) B のとき
【最初のサーブ】Z→B→X→C→Y→A→Z→B・・・
【最初のサーブ交替】B→X→C→Y→A→Z→B・・・
- ④ 最終ゲーム (第2ゲームと同様に選び) 最初のサーバー: B 最初のレシーバー: Z のとき
【最初のサーブ】B→Z→C→X→A→Y→B・・・
- ⑤ 最終ゲームのエンド交替時 サーバー: B であり
交替したレシーバー: (Z以外から選び) X のとき
【交替後の最初のサーブ】B→X→C→Y→A→Z→B・・・

※ここで、順序選択権を得るために、“5点目”をめぐる意図的に失点を図る可能性がある。

それに対する対策案として、

A: エンド交替後のレシーバー決定権を「最初のサーバー側」に限定して与える。

B: 最初のレシーバーを一つ繰り上げる等、シフト方法をルールで規定しておく。

(④の場合は、Xを繰り上げて、B→X→C→Y→A→Z→B・・・とする)

などの方法が考えられる。

要検討事項

リターン・プレイヤーの順序に関して、①～③の番号札を用意し、対戦前にトリオが順次提示、それを左右任意の肩付近に着用する等のルール。

ダブルス以上の注意を要する審判員の資質・正副体制ならびに、適切な得点票書式の作成。